

緑の少年団のあらまし

○全国の緑の少年団について

緑の少年団は、平成24年1月現在、全国で3,351団結成されており、約34万人の団員が活躍している。

森林や自然、そして身近な環境を大切にしていくことを、幼少の頃から身をもって体験し、学んでいくことが重要である。そういった趣旨から緑の少年団は「自然を愛し、人を愛し、社会を愛する心豊かな人間に育っていくこと」を目的とした子どもたちの自主的な団体として設立し、運営されている。

昭和35年国土緑化推進委員会が提唱したのがきっかけであるが、現在47都道府県に設立されており、県段階での連絡組織も37道府県で結成されている。全国組織としての「全国緑の少年団連盟」は平成元年に設立された。

緑の少年団の活動は、

学習活動：森林や緑の働きを知り、動物たちの観察などを通して自然や緑を守り育てることを学ぶ

奉仕活動：汗を流すことの尊さ、社会の一員としての自覚を養う

レクリエーション活動：楽しい集団活動を通して協調と団結、自主性を高めるに大別されるが、そのほか他団体との交流会も活発に行われている。

全国的な交流集会は開催県持ち回りで毎年、夏休みを利用して開催され、合宿による野外体験活動などで研鑽と交流を図っている（平成22年度までは毎年開催。平成23年度は東日本大震災のため中止。今後2～3年に1回開催の方針）。

緑の少年団の日常の活動の成果は、毎年全国育樹祭の前日に「全国緑の少年団活動発表大会」で発表されている。この全国大会は時間の関係もあって、都道府県から推薦された少年団の中から予め選考された5団体が出席し、発表することとなっている。

○奈良県みどりの少年団連盟について

奈良県内の「みどりの少年団」は、平成24年1月現在、73団結成されており、約7,500人の団員が活躍している。平成11年には、県内におけるみどりの少年団相互の緊密な連携のもとに、みどりの少年団の自主的な活動を促進し健全な発展を図るため、「奈良県みどりの少年団連盟」（会長は奈良県教育長）が結成された。

各団の活動内容は、先に示した学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動に集約される。なかでも、学校林を利用した体験学習活動や、校内だけでなく校区全域での緑化美化活動の取り組みなど、それぞれの地域の特性を活かした充実した活動も注目される。